十一月二十八日　夕刊

日但日曜祭日翌日休刊
一ヶ月二十五錢
郵稅十五錢一部二錢
廣告料一行四十錢
物所指定一式拾錢
發行兼編輯印刷人　平谷政幸
發行所　福島縣平町大字二三
福島縣新いわき新聞社

日本精神による亞細亞の大德化

東亞民族の覺醒と團結に　昨夜同聯盟幹事長の演說

亞細亞民族の覺醒と團結なる大ハイの下に日支滿蒙各國有士によつて最近東都に結ばれたる同聯盟は片倉製糸會社々長今井五介氏の熱誠なる後援で全國的に遊說運動を開始し相哲氏一名は主として片倉系統會社工場の斡旋を請ふ筈で昨二十七日平町の片倉製糸を訪ね當夜六時半から同社の講堂に於て場員五百の爲めに日本主義を高唱する民族の提携を力說し

まことの日本、あかるい日本、たのしい日本

の標語絶叫に大亞細亞の結成は日本精神の宣揚德化にまたねばならぬ、東亞の强化は日支滿蒙の大同團結を期するにある然り而して大日本帝國を亞細亞の盟主として公明正大なる聯盟政治の大本を建設する所にあるを說いて聽衆に深き感動を與へた

皇室の御慶事に賀表捧呈

第二皇子御降誕の御慶事に喜ぶ平町は今二十八日朝の御吉報と同時に各戸國旗揭揚奉祝の意を表したが同町では午後二時急施町會を招集青沼町長並に井上議長から恭しく賀表を捧呈した。

たが東北地方行脚の途に着いた同聯盟の常務理事幹事長韓

石城郡下青訓聯合參加二千名の演習

南北各三個中隊の遭遇戰と東西兩軍の陣地攻擊戰

石城郡下青訓聯合演習は來る卅日から翌月一日に亘り見學參加を合せて約二千名の出動を六個中隊の編成を以て行はれる第一日の三十日は

四家(少佐)支隊長の率ふる北軍三個中隊平第一校に集合午前十一時出發平、鹿島小名濱街道を前進

比佐(大尉)支隊長の率ふる南軍三個中隊湯本小學校に集合午後〇時半出發玉川、小名濱街道を前進

途上玉川村林城、鹿島村御代の附近に於て兩軍の遭遇戰に砲火を交へて午後四時頃演習終了後編成を變へて西軍は鹿島、玉川兩校に東軍は小名濱校各宿營當夜は鹿島校比佐大尉、玉川校中野中佐及び平商業の配屬將校佐藤中尉、小名濱校磐中配屬大井川中佐の講演並に余興の後就寢翌日の第二日は午前六時より行動を開始する西軍が玉川村岡小名、原木田附近に兵力を集結して小名濱北方地區に陣地を構成する東軍に對して陳地攻擊を行ひ同九時頃演習を終了と同時に兩軍小名濱校に集合國旗揭揚、宮城遙拜の後青訓功勞者に對する感謝狀贈呈を終つて閱兵分列、講評訓示、來賓の祝辭に聯合分會長の挨拶あり て萬歲三唱解散の筈であるが統監は聯合分會長篠山平第一校長、中央審判官長は大井川中佐、北軍審判官長は中野中佐、南軍審判官長は齋藤少佐である

人絹の有毒被害に三千五百圓を要求

工場付近水田六十町歩の減收　會社側では二千圓と見積

石城郡錦村の昭和人絹會社は農村の工業化に歡迎されて華々しいスタートを切つた去る昭和八年以來化學藥品による流水放散で灌漑水利關係地及び附近の風向地域に被害を與へ絶えざる苦情を持込まれてゐるが同工場附近の水田六十町歩が此の有毒被害で著しい減收に陷り內十余町歩は收穫の皆無の爲め縣農試石城分場に調査を賴み同工場による被害を確めたので賠償方を交渉中であるが會社側では有毒被害を認めながらも本年の冷害に原因するものあるを主張し獨自の立場に於て調査の結果賠償に應じ樣と云ふことで折衝中であるが被害側三千五百圓の要求に對し二千圓の減額を見込むもの〻如くである

檢査米保管期間の延長で倉庫の協議

產業組合の火災保險代理店で　石城郡部會主催の招集

產業組合石城部會では今二十八日午前十時平町マルトモ樓上に於て農業倉庫に關する協議會を開いたが案件は倉庫保管の俵米檢査規程第二十七條の取締事項中第六項に於ける期間關係に對し特別の取扱ひを受けられる樣改正を要望するものと產業組合中央會福島支會に於て火災保險の代理店を引受けることの是否について部會の意向をたゞす二項であつた

カフエー當業の石城聯合發會式

今日平町マルトモ樓上で　華々しい首途の祝ひ

平町洋食屋組合では曩に東北に於ける同業界のトップを切つて女給のために修養會を組織し生華並に作法の修得を授けつゝあるので柴田平署長の讃辭を受け且〇操行の正しきをモットーとする營業者及び女給の左胸にマークを附して從來兎角の評を受けた改善に努力されてゐるが更に飛ねて計畫中であつた石城當業の聯合會は漸く其の機を熟し今二十八日平町マルトモホールに於て發會式を擧げた出席當業は平二〇、好間五、內郷一〇湯本一二、小名濱二〇、江名五、豐間五の多數に上り右は平組合の會長金子福藏氏が先般東京宇に開催された全日本カフエー聯盟に出席理事に推されて歸町し同業の統制强化を圖り併せて業界の改善進歩と標益擁護を期さんとする提唱にも促されるもの多く前記發會式は會則の制定、役員の選擧を終つて午後三時祝宴を開いたが會長には柴田署長を推戴今後益々業界の向上發展を圖るべく意氣込んでゐる

三村聯合

農產品評

石城郡山の手方部で呼物の上遠野、入遠野、田人三村聯合農產品評會は此の程田人小學校に於て催されたが出品點數九百八十七點に對し柴田郡農技手の審査により一等受賞者左記の如くであつた

一等玄米佐川歲雄　大豆小川久子　大根蛭田清四郎　同折笠つね　白菜櫛田一男　牛蒡大平武雄　蒟蒻小宅安久　同平子茂一　蜂屋柿猪狩清次（以上）

自動車台檢査

平町八幡小路自動車々台檢査所に於て今二十八日から三十日まで檢査を行はれてゐるが平署廿余台の外植田、四倉、富岡を合せて受檢約五十台であると

癩病の話【十】

大森勇

之等の十四人癩病患者の血統は如何なつてるかを調べて見たら、癩の血統ある者は唯一人切りで、他の十三人は癩の血統にあらざる家系の者であつた。もつとも中には血統を隱してる者もあつたかも知れぬが兎に角大多數は癩の血統にあらざる家系より發生してるのである。この事實より考へて見ても、この病氣の血統の人であつても、傳染の機會に接すれば病氣が發生するものだと云ふ事がわかる。之等の十四人が何處に宿泊するかを調べて見ることも必要である。殆んど凡てが野宿するか又は神社佛閣に宿つてる。最も清淨でなければならぬ筈の神社が、癩患者に依つて穢されてると云ふ事は、敬神の上から云ふても、衛生の見地から考へても、重大問題であらねばならぬ。中學を卒業したと云ふインテリレブラが、昨夜は水戸の宿屋に宿つたと云ふのもあつた。その翌晩その宿屋に宿つて、その布團に寢た人は如何な夢を結んだであらうか。また雲間は岩穴などに寢て、夜になると起きて歩くと云ふのもあつた。すると夜々中夜道を歩く者は、滿れて歸る粹樣か、雜產や癩の發作でたゝき起されるお醫者さんか、それとも人目を忍ぶライ人か、三者その一であらねばならぬ。之等の十四人が性慾の放散口を何處に求めるかを調査する事は必要な事でもあり興味ある事でもある。ヒョットしたら遊女諸姉や夜の諸諸姉がこの禍を蒙つてるのであるまいかと疑はれるがそは無駄な心配である。ライ人は發病後は性慾とみに減退し其上食ふに追はれて浮いた心などは夢更ありませんとは十四人一致した答辯であつた。之で安心して擱筆する（終）

懺悔錄

告白

コンフエッションは自白、懺悔、告白の意、過去を語るそれがコンフエッション（懺悔錄）ではないがなどと云ふのがそれだ、コンフエスと云へば自白することと懺悔することである

明年の壯丁所在不明

石城に居る模樣

埼玉縣埼玉郡菖蒲町の新堀八〇〇戶主幸作甥大塚義雄（三〇）は石城郡內郷村の白水に於て出生入籍後戶主に顏見知りのないものであるが明年徵兵適齡なので所在を確め置くべく當人の實兄大塚政雄が昭和六年四月內郷村綴に於て二女榮子出生の際入籍届出あこを賴りに同人の許へ照會したが政雄もまた同地に居住せず手紙を戻されて義雄の捜索方を平署に願出た

三坂事件の被疑者釋放

昨日と今日

石城郡三坂村の區長白石清治（五六）を殺害した犯人は平署苦心の探査取調べにも其の効空しく有力な被疑者として留置取調べ中の三名が釋放されるらしいとは昨報したが反區長派の關係で嫌疑を受けた阿部清（五三）は昨二十七日午後同人の親戚に當る阿部長門（三六）同白石鶴治（三〇）は今二十八日共に釋放された

画家の無斷家出

茨城縣那珂郡隆郷村の小田堀醫家泰山事佐藤好治（四）は本年八月十日無斷家出のまゝ行方不明の爲め八方捜索中のところ本月二十三日平局の消印ある居住地を明記せぬ手紙を實母たか宛に送つたので同地方に居るものと今二十八日平署に捜索方願出があつた

洋服は高島屋　高島屋洋服店

◎（映）（映）◎
（映）（映）
（映）（映）
◎（映）（映）◎
（映）（映）
（映）（映）
◎（映）（映）◎
（映）（映）
（映）（映）

穀檢規則の改正要點

（5）　縣穀檢本所述

（一）檢査を受くる穀物の包裝に商標、荷印其の他の表示をなすときは穀物檢査所長の承認を受くること、

（二）檢査濟穀物を解俵したときは票箋や封紙を破棄すること、

（三）檢査濟穀物を刺取つたときは元包裝内に刺戻すこと、

（四）檢査濟穀物を降雨や降雪中に運搬したり又は防濕の設備なき屋外に積み置くこと、

（九）運送業者又は運送取扱業者は檢査の濟まぬ穀物を取扱はぬこと、而し檢査を受くるための取扱ひは差支ありません、

一〇、書類の提出

許可、免除、承認、指定等を受くるため提出する書類は凡て所轄穀物檢査支所又は支所出張所を經由しなければなりません、

一一、罰　則

本規則に違反したるときは五十圓以下の罰金または拘留若くは科料に處せられますから注意を要します、

一二、從前の規則との關係

從前の規則によりて受けた許可、認可、承認は今回の改正規則の施行と共に自然消滅したる譯でありますから必要の向は更に正改規則によつて改めて願出なければなりません、前にも申ましたが從前の規則によつて造つた移出檢査の票箋は當分の間は改正の票箋に代用することは差支ありません（完）

ガソリン　モビール油　日本石油株式會社　特約販賣
油問屋　關内油店　磐城平　電話長16
支店　郡山市驛前通　電話長三二八
茨城縣關本驛前　電話長平潟七三
油槽出張所　平町四丁目　郵便局前

しづかに食事の出來る正しい食堂
正しい喫茶
正しい酒場
平田町　レストラン　サロン　電三三五二

醤油味噌　たひら正宗　鰹節食料品
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

お醤油は……ヤマフル
鹽屋　山崎合名會社　電話一本　營業部一七〇番　店二番

内科、小兒科
入院應需
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番

新案特許
防寒眞綿入肌着
柔軟にしてお召し心地よく輕くて暖かく眞に理想的お肌着
シヤツ　¥5,00　5,50
ヂヨツキ　¥3,50　4,50
ベツチ　¥3,80
お洗濯は手輕に出來ます。
ツルヤ
平四　電話一四〇番

債券　公債　両替　金融
多田井質店
平町大工町　電話五九一番

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野惠次
日本齒科醫學士　西川誠
平町田町（松月堂向ひ）電話五〇九番

結核に！
ホシアンチツベルケン
結核恐るゝに足らず！！
「不治の病」とは一種の迷妄——
1.50
1.50
3.00
5.00

「結核豫防週間」
肺結核は年々增加の傾向にあり、結核のために死亡する者は年々十二萬と稱せられ、また死亡までには至らないが、仕事も出來ずブラ〳〵して廢人同樣の生活に陷りて居る人々を合すると實に約百萬乃至百五十萬人に上る推定である。當局は毎年結核の撲滅と豫防の爲め國民の喚起を促す事に努め、本年も四月廿七日より一週間を結核豫防週間として全國的に持たれてゐるがこの豫防週間を各人が効果あらしめなければならぬ。

肺及び呼吸器疾患
肺病療法の根本に先づ必ず治る、「肺病は不治の病」とは一種の迷妄に過ぎぬことが、今日明になつたのであるからして治して見せると云ふ確固たる信念を持つこと即ち肺病の信念を固く持つこと、胃腸の健全をはかり營養物の消化吸收を良くし以て病氣に對する抵抗力を養ふこと、日光浴をすること、日光中の紫外線を最も治療的効果たらしめ、以て之が結核菌を殺し又身體の新陳代謝を能くした上に、これに信賴すべき藥劑をあせらず迷はずに、此の藥なら必ず治ると云ふ信念を以つて服用する、藥であります。

ホシアンチツベルケン
に本社が大なる自信と誇りとを持つて居る有名藥の一つであつて結核菌に對する効能と、同時に咳を減ずる効と、輕度の熱を下げる作用とを兼有して居る藥であります。
本劑は肺結核、肺尖カタル、肋膜炎、氣管支カタル、腐敗性氣管枝カタル、に能く効く優秀なる治療藥であり、其他咳を鎭め痰を去り喘息にも奏効藥であります。

肺結核の疑ある人よ！
迷ふことなく、ホシアンチツベルケンに來たれ！

「健康の秘訣」と題する呼吸器療法に關する小冊子あり是非御一讀を奬む、チエーンストアに無き時は本社營業部宛御申込あれ無料送呈す。

全國ホシチエーンストアにあり
クスリはホシ
東京・星製藥株式會社

ホシチエーンストアー平支部
星藥舗　（電話四九二番）　平町三丁目